



岳南朝日新聞社
〒418-0033
富士宮市野中東町46-1

富士宮高校会議所はこのほど東京都で開かれた「高校生ボランティアアワード2023」全国大会で、日頃

取り組む地域貢献的なボランティア活動が認められ、主催する公益社団法人風に立つライオン基金から賞を受けたことを、8月31日に富士宮市役所を訪れて須藤秀忠市長に報告した。

7月のオンライン予

富士宮高校会議所 ボランティア活動が認められ 高校生アワードで須藤市長に報告



報告した参加メンバーら

選を通過した同会議所は、杉山栄奈リーダーら約10人が同アワードに参加。会場内には、全国から約100の地域を元気にするボランティア活動を紹介するブースが並んだ。同会議所は「マスマス元肥

マス元気に!!」を発信。マス元気に!!」を発信。事業廃棄物として処理していた特産ニジマスの残渣（ざんさ）と朝霧牛の糞尿（ふんによ）でたい肥を作り、それを使い栽培した作物でスイーツ作りやジ

ヤンボカボチャコンテストにチャレンジすることで、耕作放棄地の有効利用を図っていることを紹介した。そうした同会議所のこれまでの取り組みが認められ、同基金の古竹孝一理事長から感謝状が贈られた。

表敬で会議所メンバー

ーは「全国の地域活性化活動に取り組む高校生との交流に大変充実した思いを持つた。今後も持続可能な社会づくりを目指し、富士宮の元気に向けて活動を続ける」と意気込みを語った。

須藤市長は「皆さん

はさまざまなプロジェクトを通して、商店街や

地域と交流して若い力

で富士宮の素晴らしい魅力を発信していく。今後もまちを元気にしていってほしい」と話し、会員の考え方

意見を聞くと、一つ一つ丁寧に答えるながら思いやアドバイスを送った。